まずは10のプロジェクトから
前橋を盛り上げる アツい思いが動き出す

ビジョン実現のため集った高い志

ビジョンの実現を支える団体として、本市ゆかりの17社で構成する「太陽の会」と、市民有志の会「風の会」が結成。太陽の会は、各社が純利益の1パーセントか100万円を前橋再生のために毎年寄付すると発表しました。また、風の会は、今後の市民活動の拠点として、前橋への誇りや愛着を育むアイデア、プロジェクト実現に携わる人材を募集します。

そもそもビジョンって？

ビジョンとは目指す姿。目標や計画よりも上位の理念・価値観で、例えれば大木を支える根っこのような存在。ビジョン（理念）→ミッション（行動）→バリュー（価値）

市民一人一人が「めぶく。」まちに

前橋が生まれ変わるためには、点在するさまざまな魅力を長期的視点に立った方向性の下につなげる必要があります。そのためには、100年経っても変わらぬビジョンを共有することが大切です。前橋ビジョン「めぶく。」は、自治体と民間が手を携え、綿密な分析の結果導き出された、前橋の持つ可能性と価値そのものです。行政、企業、市民がビジョンを共有し、創造力と想像力を発揮すれば、前橋は日本だけでなく、世界に誇れるまちになると信じています。

田中仁財団
代表理事 田中 仁 さん

GRASSA

米国ポートランドの手打ちパスタ店「GRASSA」が日本初上陸。前橋産の豚肉や野菜を中心に提供します。2017年、開業予定。

リバーフェス

広瀬川を活用したアクティビティ。9月19日㈪、ラバーダックやサーフボードなどを使ったレースを開催します。

ホテル

閉館したホテル白井屋を世界的建築家の藤本壮介さんがデザインホテルにリノベーション。市民やゲストが気軽に憩える場に再生します。

歩いて健康

9月中旬、中心市街地にウオーキングステーションを開設。活動量計を使った健康ウオーキングや健康指導を実施します。

ソーラーファーム

農業の6次産業化や200人の雇用と人材育成を行うなど、前橋発のスマートアグリで新しい農業の形を提唱します。

教育

子どもにとって本当に大切なものを追及、体験させる教育を実施。前橋を誇りに思い、未来を担う人づくりを進めます。

コミュニティハブカフェ

まちなかの点をつなぎ、未来をつくる拠点としてカフェをオープン。行政、企業、市民をつなぐ役割を担います。

和菓子

地元にも観光客にも愛される前橋のお土産づくりに挑戦します。2017年春、開業予定。

とんかつ

ミシュランで星獲得のオーナーがイベリコ豚専門店経営の経験を生かし、前橋産豚肉を使ったとんかつ料理店を出店します。

都市再生計画

自分たちのまちは自分たちでつくる。次の世代のためのまちをつくる。前橋の顔を再生します。

前橋の芽吹きを先駆ける10のプロジェクト

前橋ビジョンを受け、始動する10のプロジェクトと活動を支える2つの団体。これらを皮切りに、市民主体の企画や活動が次々と芽吹き、育ち、前橋を盛り上げます。

ビジョンの下に結集した内外の知・財・志。地元のみならず、日本全国や海外からの移住者、観光客を呼べるようなわくわくする取り組みが盛りだくさんです。

前橋市は、諸計画や事業との整合・調整を図り、市民の芽吹きを支える大地として、多方面と連携し、ビジョン実現をサポートします。

―芽吹き、花開く前橋を共に。

次世代の芽を育てる―太陽の会

発起人 天野 洋一さん

前橋に眠る未使用の地域資源を掘り起こし表に出せば、まちに新たな魅力が加わります。ないものねだりでなく、ここにしかないものを生み出す、そのサポートができればと考えます。

発起人 斎藤 郁雄さん

太陽の会は、「めぶく。」というビジョンの下、企業の新しい社会貢献の形として、前橋の未来の資産となるものに投資することで、次世代に誇れる前橋独自のまちづくりを目的に立ち上げました。

発起人 吉田 卓史さん

参画の条件はあえて高く設定しました。これは、私たちの前橋に対する思いの表れでもあります。今後はさらに賛同者を募り、行政と連携して50年、100年先のために、継続的に活動していく予定です。

芽吹いた種を運ぶ―風の会

前列右から中村有香さん、新井義宏さん、中村敬太郎さん、後列右から田子宏美さん、関隆行さん

風の会では、まちづくりに関するアイデアや一緒に活動する仲間を募集しています。詳しくはこちら→

前橋ビジョンに賛同し、市民の立場から前橋を良くしたいと結成しました。前橋の理想像をクラウドファンディングなどの手法で可視化させ、まちへの愛着を育てる。行政などと連携しさまざまなプロジェクトの手助けをしたいと考えています。